

1年3組 国語科学習指導案

日 時 平成28年6月22日(水) 第5校時
場 所 [REDACTED] 1年3組教室
授業者 [REDACTED]

- 1 単元名 新しい視点へ 第1学年「C 読むこと」
学習材 「ちょっと立ち止まって」 桑原茂夫

2 単元のねらいと概要

本単元は、「説明的な文章の書き方や表現の効果について、自分の考えをもつことができる。」(読むことエ 自分の考えの形成)を高めることをめざしている。そのために、単元の導入として、「2つの絵が見える図」をいくつか見せ、仲間に説明する文章を書く。自分の書いた文章と学習材を比べることで、自分が書いた文章にはない工夫を見付け、自分の説明文に生かしていく。最後に、もう一度仲間に説明する活動を位置付けることで、生徒たちに説明的文章を読む必然性をもたせて指導にあたりたい。

3 単元の目標

- (1) 筆者のものの見方や考え方を確かめながら読み、身近な生活と結び付けて考えようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 序論・本論・結論という説明的文章の書き方や、叙述、展開、具体例といった工夫された表現の効果について、自分の考えをもつことができる。(読むこと エ 自分の考えの形成)
文章に表れている「一面のみをとらず、他の見方も試してみよう」という考え方をとらえ、具体例を考えて説明することで、自分のものの見方や考え方を広くすることができる。
(読むこと オ 自分の考えの形成)
- (3) 事象や行為を表すさまざまな語句についての理解を深め、文章の中における語彙について関心をもつことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ウ))

4 言語活動について(学力・学習状況調査分析)

文章と図との関連を考えながら説明文を読む。

この学習を通して、文章と図を関連付けて自分の考えを説明する力をさらに高めたいと考える。本単元では、説明文を読んでいくきっかけとするために、第1時と第5時に図についての説明文を書く時間を設けた。説明文を書くことで、説明文の書き方の工夫を読み取るための意欲をもたせたい。

5 単元の評価規準

| 国語への 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての 知識・理解・技能 |
|--|--|--|
| ① 筆者のものの見方や考え方に興味をもち、身近な生活と結び付けて読み進めようとしている。 | ① 図の見方を説明している部分と、それをもとに具体例を例示している部分とを読み分け、段落相互の関係や役割をとらえている。 (エ 自分の考えの形成) ② 文章に表れている「一面のみをとらず、他の見方を試してみよう」という考え方をとらえ、具体例を考えて説明することで、自分のものの見方や考え方を広くしている。 (オ 自分の考えの形成) | ① 事象や行為などを表すさまざまな語句についての理解を深め、文章の中における語彙について関心をもっている。 (1) イ (ウ) |

6 指導と評価の計画 (全5時間)

| 時 | 主たる学習活動 | 評価規準 | 評価方法 |
|---------|--|----------------------------|--------------------------|
| 1 | どくろに見える図の説明文を書き、学習の見通しをもって文章を通読する。 ○ 図を紹介し、1つの図が2つの見方をもっていることを理解して、どくろに見える図の説明文を書く。 ○ 単元を貫く課題を設定する。 ○ 本文を通読し、分かったことや自分が書いた文章と違うところについて、初発の感想としてまとめる。 | 国語への関心・意欲・態度 ① 読む能力① | 説明文の内容 発言内容 ノート、観察 |
| 2 | 初発の感想を交流し、文章の構成を確認する。 ○ 初発の感想を交流する。 ○ 新出語句や新出漢字を確認する。 ○ 文章の構成を確認し、序論・本論・結論に分ける。また、本論も、3つの図に関して順番に述べていることから、3つに分ける。 | 読む能力① 言語についての知識・理解・技能① | 発言内容 ノート、観察 |
| 3 | 序論と本論1ではどんな書き方の工夫があるか見付け、自分の説明文に生かす。 ○ 序論では、読み手に語りかける書き方をして、読者に考えさせようとしていることを読み取る。 ○ 本論1を読み、ルビンのつぼについて、筆者の書き方の工夫を見付け、図に関して述べている段落と、一般化している段落があることに気付く。 | 読む能力①・② | 発言内容 ノート、観察 |
| 4 本時 | 本論2, 3ではどんな書き方の工夫があるか見付け、自分の説明文に生かす。 ○ 本論2では、予想した書き方と言いつける書き方という叙述の工夫から、筆者の考えと意見を読み分ける。 ○ 本論3を読み、「何が見えるか」「どうしたら見えるか」などを整理し、図に関して述べている段落と、具体例を説明している段落があることに気付き、具体例はなぜ必要か、どんな具体例がよい具体例といえるのかを考える。 | 読む能力①・② | 発言内容 ノート、観察 |
| 5 | 結論から筆者の見方や考え方を読み取り、これまで見付けた書き方の工夫をもとに、図の説明文を書く。 ○ 結論では、筆者の考えを読み取り、筆者が一番伝えたかったことだと理解する。 ○ 9段落と10段落の間に、図を説明する文章を入れると仮定して、書き方の工夫を生かして仲間に説明する文章を書く。 | 読む能力② | 発言内容 ノート、観察 説明文の内容 |

7 単元構想表

単元（教材）名 新しい視点へ「ちょっと立ち止まって」桑原茂夫 全5時間 重点指導事項 エ

| 言語活動例 | イ 文章と図表などの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。 | | | |
|--------------------------|-----------------------------------|---|---|-------------|
| 指導事項 | 重点化 | 学 習 活 動 | 評価規準 | 時 |
| ア | | 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解する。 | | 1 |
| イ | | 段落や、文章と図の関連に注意して読み、必要に応じて要旨をまとめる。 | 図を説明している部分と、具体例を例示している部分とを読み分け、段落相互の関係や役割をとらえている。 | 2 |
| エ | ◎ | 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ。 | 説明的文章の構成や工夫された表現の効果について、自分の考えをもっている。 | 2 3 4 |
| オ | ○ | 文章の構成や展開・ものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げる。 | 筆者のものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くしている。 | 5 |
| カ | | 文章の展開や工夫された書き方を見つけるといふ説明的文章に必要な情報を読み取る。 | | 3 4 |
| 関連する伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | (1) イ (ウ) | 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつ。 | さまざまな語句についての理解を深め、文章の中における語彙についての関心をもっている。 | 1 2 5 |
| 国語への関心・意欲・態度に関する評価 | | | 仲間に図の説明文を伝えるために、説明的文章の書き方の工夫を読み取ることに関心を持ち、読み取ったことを生かして、自分の文章をさらによくしようとしている。 | 1 |

8 本時のねらい

本論2、3から、叙述、展開、具体例といった工夫された表現の特徴を読み取ることを通して、富士山やビルという具体例を挙げる理由や、適切な具体例の条件や効果に気付くことができる。

9 本時の展開（4／5）

| 授業前 文章の構成や展開、工夫された表現の特徴を理解し、その効果について自分の考えをもつ力について | | |
|--|---|--|
| <p>◎つかむ これまでの自己評価および教師評価の分析から単元のつきたい力に対する評価を明確にする。これまで学習してきた単元「わかりやすく説明しよう」における、地域のよさを説明する文章の内容 A：(具体的な例示)：2人 B：(話の構成順序)：4人 C：(説明不足) 2人→個別指導が必要</p> | | |
| | 学習活動 | 指導上の留意点 (○指導 ◎評価) |
| 導 入 | <p>① 前時を想起し、家庭で考えた類似例を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図の説明の後に、読者にわかりやすくするために、橋と少女の具体例を出していた。 記念日の写真を見たときに、人に注目するか服装や場所に注目するかという違いがある。 | <p>◎ つかむ どのような類似例を考えてきたのかを確かめ、考えた生徒を認める。(実態の見届け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の目標を提示し、学習活動の見通しをもたせる。 ○課題に対する自分の考えを、書き方の工夫をもとに探してノートにまとめることを伝える。 ○前回までの読み取りの仕方を用いて本論2、3を読み取る。机間指導を通してどのような工夫を見つけたのか把握する。(学習状況の見届け) ○少人数グループでの交流を通して、工夫をすることの効果について考えさせる。 |
| 展 開 | <p>② 本時の課題を提示する。</p> <p>本論2、3ではどんな書き方の工夫があるだろう。</p> <p>③ 本文を音読し、前時に確認した工夫をもとに、本論2、3を整理し、3、4人のグループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「どうであろうか」「見てみよう」と読者を誘い、「だろうか」と予測している叙述の工夫がある。 図の二つの見え方を紹介して、その後に見方を説明し、具体例を出すという展開の工夫をしている。 図の説明のあとに、富士山やビルの具体例がある。 <p>④ 整理した内容を全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本論2でも3でも叙述、展開、具体例の工夫が使われている。 本論2・3も、本論1と同じように、図の説明から具体例という順番で説明をしている。 | |
| 終 末 | <p>⑤ 例示された具体例の効果について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士山を具体例として挙げるのは、誰もが知っている有名な山だからだ。 ビルという具体例は、どの街にもある身近で分かりやすいものだからだ。 <p>⑥ 本時のまとめを書く。(定着状況の見届け)</p> <p>本論2、3では、本論1と同じように、図について説明してから分かりやすい具体例を示している。具体例を示すことで、言いたいことを分かりやすく伝えることができる。具体例は、富士山のように誰もが知っているものや、ビルのように身近なものがふさわしいということが分かった。</p> <p>⑦ 家庭学習について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが説明する図にふさわしい具体例には、どのようなものがあるのか考えてくる。 | <p>◎ 伸ばす 自分が見つけた工夫を進んで紹介している生徒のよさを認め、励ます。</p> <p>評価規準 読む能力② 書き方の工夫に注意して読み、その効果を考えることができる。</p> <p>評価方法 ノートの記述、発言内容 Aと判断するキーワード等 ・どんな具体例を用いるとわかりやすいのかを考えている。</p> <p>努力を要する生徒への指導 どんな具体例の工夫があったのか教科書で確認したり、具体例のよさについてヒントを与えたりする。</p> <p>家庭学習へつなげるために 本時学習した条件に合う具体例を考える。</p> |
| 家庭学習での評価 文章の構成や展開、工夫された表現の特徴を理解し、その効果について自分の考えをもつ力について | | |
| <p>◎確かめる 「自分たちが説明する図にふさわしい具体例には、どのようなものがあるか考えてくる」という家庭学習についての評価を行い、次時の導入における◎つかむ評価とする。</p> | | |